

とよね議会だより

- 3月定例会…P2
- 議会全員協議会…P4
- 行政視察…P7
- 議会活動報告…P11
- 議会活動日記…P12
- 6月定例会のお知らせ…P12
- 編集後記…P12

vol. 39

2025.6.1
発行



写真：芝桜まつり

表紙写真を募集しています。画像データをメールアドレスまで送ってください。

E-mail : soumu@vill.toyone.lg.jp

豊根村議会

〒449-0403 愛知県北設楽郡豊根村下黒川字藤平2 TEL/0536-85-1311 FAX/0536-85-1164

3月定例会の議決・報告等

令和7年第1回定例会が3月6日から14日までの9日間の会期で開かれました。

●議事前に村長より

令和6年12月から令和7年2月までの報告と、令和7年度予算に関し2つの大規模継続事業の最終年度であること、新規事業や単身住宅を整備することで過去最大規模の31億円を超える予算規模となったが、財源を工夫し、一般財源や基金による充当を控えることで村の負担を極力抑えた予算案としたことの説明がありました。

村長から提案された、条例13件、新年度予算7件、補正予算3件、その他3件、最終日に追加上程した議会発案の条例改正案1件を慎重に審議し、いずれも原案のとおり全会一致で可決しました。一般質問は、3名がそれぞれ質問・提案を行いました。

3月定例会で決まったこと

条例の制定

▼刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例(全員賛成)

刑法等の一部改正により「懲役」・「禁錮」が「拘禁刑」に改まったことから、既存の条例中、改正対象字句を「拘禁刑」に改めます。
施行 令和7年6月1日

▼豊根村会計年度任用職員
の給与及び費用弁償等に関する条例(全員賛成)

フルタイム、パートタイム会計年度任用職員に関する給与及び報酬等に関する条例を一本化し、給与体系の整合性や事務の効率化を図ります。
施行 令和7年4月1日

条例の一部改正

▼豊根村職員の勤務時間、
休暇等に関する条例の一部
改正(全員賛成)

育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部改正をうけ、仕事と育児や介護を両立できるようにするための措置を講じるため、条例の所要の事項を改正します。

▼豊根村職員の育児休業等
に関する条例の一部改正
(全員賛成)

育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部改正をうけ、関係条文を改正します。

▼豊根村職員の給与に関する
条例の一部改正(全員賛成)

人事院勧告にならない、扶養手当・住居手当・通勤手当の見直しと地域手当の支給等に関する、必要な改正を行います。

▼豊根村職員の旅費に関する
条例の一部改正(全員賛成)

近隣町村との金額の均衡を図るため、日当、宿泊料、食卓料及び移転料の単価の見直しを行います。

図るため、日当、宿泊料、食卓料及び移転料の単価の見直しを行います。

▼消防団員等公務災害補償
条例の一部改正(全員賛成)

団員の階級や勤務年数に応じた補償基礎額とともに扶養親族に係る補償基礎額を改正します。

▼豊根村非常勤消防団員に
係る退職報償金の支給に
関する条例の一部改正(全
員賛成)

消防団員の処遇改善を図るため、勤務年数区分を追加するものです。

▼湯くらんどバルとよねの
設置及び管理に関する条
例の一部改正(全員賛成)

施設使用料に「東屋」「レストラン」「実習室」「売店」「休憩所」を追加するものです。

▼豊根村国民健康保険税条
例の一部改正(全員賛成)

国民健康保険制度の健全な運営を維持するため、所得割額の税率、被保険者均等

割額及び世帯平等割額を引き上げます。

▼豊根村坂宇場地農村広
場の設置及び管理に関する
条例の一部改正(全員賛成)

施設の使用の許可条件とともに、使用料の免除規定を追加するものです。

▼豊根村定住促進住宅管理
条例の一部改正(全員賛成)

解体した住宅の削除と富山区の住宅の表記を変更するとともに、教育委員会所管の教員住宅を定住促進住宅に編入するものです。

▼豊根村議会の個人情報
保護に関する条例の一部改
正(全員賛成)

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正により、引用する条に繰下げが生じるため、それに対応するとともに所要の規定の整備を行うものです。
施行 令和7年4月1日
(条例一部改正全て)

条例の廃止

▼豊根村ヘリポート整備基金条例の廃止（全員賛成）
事業が終了したため、基金を廃止します。

施行 令和7年4月1日

令和7年度予算

詳細は、広報とよね4月号（No.654）をご覧ください。なお、議会だより5〜6ページに予算特別委員会の委員長報告と委員会での質疑を掲載しています。

補正予算

▼令和6年度豊根村一般会計歳入歳出補正予算（第7号）（全員賛成）

▼令和6年度豊根村村営バス事業特別会計歳入歳出補正予算（第3号）（全員賛成）

▼令和6年度豊根村診療所特別会計歳入歳出補正予算（第4号）（全員賛成）
（下表）

その他の議案

▼辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について（全員賛成）

既存の計画期間が令和7年3月末をもって終了することから、新たに令和7年度から11年度までの5か年計画を策定するもの

▼豊根村過疎地域持続的発展計画の変更について（全員賛成）

既存の計画に茶臼山高原施設指定管理事業、北設情報ネットワーク民間移行事業負担金を追加するとともに、村営バス車両購入台数を変更するもの

▼東三河広域連合規約の変更について（全員賛成）

規約中、東三河広域連合が計画に基づき実施する4事業を変更するもの

意見書の採択

▼刑事訴訟法における再審に関する規定の改正を求める意見書について

刑事訴訟法中、再審請求手続に関する規定の整備を求める意見書を採択

1月臨時会で決まったこと

条例の一部改正

▼豊根村議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について（全員賛成）

議会議員の期末手当支給月数を3.40月から3.45月に引き上げます。

豊根村特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について（全員賛成）

豊根村特別職の期末手当支給月数を3.40月から3.45月に引き上げます。

豊根村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について（全員賛成）

職員の期末手当支給月数を2.45月から2.50月へ、期末勤勉手当支給月数を2.05月から2.10月へ引き上げるとともに、人事院勧告に基づく給料表の増額改定をします。

施行 令和6年4月1日

補正予算

▼令和6年度豊根村一般会計歳入歳出補正予算（第6号）（全員賛成）

▼令和6年度豊根村国民健康保険特別会計歳入歳出補正予算（第4号）（全員賛成）

▼令和6年度豊根村村営バス事業特別会計歳入歳出補正予算（第3号）（全員賛成）

正予算（第2号）（全員賛成）
▼令和6年度豊根村診療所特別会計歳入歳出補正予算（第3号）（全員賛成）
▼令和6年度豊根村簡易水道事業会計補正予算（第4号）（全員賛成）
（左表）

補正予算（1月臨時会）

（単位：千円）

会計名	補正額	総額	主な補正内容	採決
一般会計（第6号）	28,808	3,073,823	地方交付税の増額 26,743 人事院勧告に基づく人件費 18,367	全員賛成
特別会計 国民健康保険（第4号）	386	111,414	人事院勧告に基づく人件費 386	
特別会計 村営バス事業（第2号）	1,210	56,510	人事院勧告に基づく人件費 1,210	
特別会計 診療所（第3号）	598	112,119	人事院勧告に基づく人件費 598	
公営 簡易水道事業（第4号）	575	264,270	人事院勧告に基づく人件費 575	

補正予算（3月定例会）

（単位：千円）

会計名	補正額	総額	主な補正内容	採決
一般会計（第7号）	△ 54,781	3,019,042	森林環境贈与税 14,973 観光リフト使用料 △20,000 基金繰入金 △14,040 地域おこし協力隊報償 △10,141 森林環境整備基金への積立 14,973	全員賛成
特別会計 村営バス事業（第3号）	1,505	58,015	退職手当負担金の増額 2,642	
特別会計 診療所（第4号）	△ 3,405	108,714	医薬材料費の減額 △2,684	

議会全員協議会

令和7年1月22日 10:00

【案件調査・研究】

議案第3号

豊根村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

【給料表の増加率は？】

答 全体で3%の増加率。主事級の1級が11.1%、同じく2級が7.6%、係長級の3級が3.1%、課長補佐級の4級が1.3%、課長級の5・6級が1.2%

問 村は村内の民間事業者の給料を把握しているか？

答 給与として把握はしていないが、所得の把握はしている。

問 今回の条例改正で村職員の人件費が全体でどの程度上がる？

答 補正予算額ベースで2,000万円の増額となる。

議案第4号

一般会計補正予算

問 交付税で今回の職員給与も算定しているのか？

議会全員協議会

算定されているが、今後とも継続されるかは未定。

【執行部への質問】

問 愛知東農協豊根農産物加工場についての方向性

答 令和7年度はJAで運営を継続する。1年かけて、村で譲渡を受けてくれるのか方針を示してほしいと依頼があった。村の農業振興の観点から、上半期の内に村の方針をJAに伝えたい。

問 愛知東農協豊根茶工場についての方向性

答 令和7年度で運営を終了する予定だが、村で支援していただけるのであれば、継続も可能。加工場と同じく上半期の内に村の方針をJAに伝えたい。

問 山林の寄付申し入れについて

◆第3期(2025年~2029年)豊根村総合戦略について

◆山林の寄付申し入れについて

【執行部報告事項】

◆第3期(2025年~2029年)豊根村総合戦略について

◆道の駅テナント募集結果報告

◆国民健康保険税について

問 介護保険事業は、5年かけて東三河8市町村の保険料を統一した。当時は豊根村が最も高い保険料だった。国民健康保険税の場合、基金を活用しないと税負担に不公平感が生じる。

答 税負担が急激に高くなるないように基金を活用していきます。

問 基金残高があるうちは、激変緩和措置をとらないと被保険者にはかなりの負担になるのでは？

答 保険税を徐々に上げていくため、基金を活用していく。税の統一後も活用できるか研究していく。

【議会協議事項】

◆行政視察について

令和7年2月19日 13:30

【執行部への質問】

問 (株)サンデーフォークプロモーションとの包括連携に関する協定の相互連携・協力の状況と(株)ディナと豊根村観光協会との「観光パートナー協定」

◆道の駅テナント募集結果報告

◆国民健康保険税について

◆介護保険事業は、5年かけて東三河8市町村の保険料を統一した。当時は豊根村が最も高い保険料だった。国民健康保険税の場合、基金を活用しないと税負担に不公平感が生じる。

◆基金残高があるうちは、激変緩和措置をとらないと被保険者にはかなりの負担になるのでは？

の状況について

答 村からの金銭的な支援はなく、公共施設のトイレ開放やイベントスタッフの提供のみ。協力できるところは協力して、双方の利益に繋がる取組みを続けていきたい。住民に対しての周知はこれまで不足しているため、住民が参加し、イベントが活況するように支援していきたい。

問 県代行事業林道望月峠線の事業完了予定時期について

答 平成16年度より事業開始し、令和8年度で完了予定

問 林道望月峠線完了後、次の計画について

答 村道霧坂線を林道に移行し、代行事業として計画している。全線を林道規格に改良、舗装していく。沿線は受益者が多いため、開設効果は高いと考えている。

【執行部からの報告】

◆令和7年度予算概要について

◆三沢高原いこいの里キャンプ場竣工式について

◆熊谷家住宅への対応について

2月18日文化庁から推薦された立命館大学小川講師を訪問した。

2月19日鳥取環境大学浅川教授と面談し、その後現地確認をしていただいた。

▽豊根村と同じ問題を抱える山間過疎地は全国いたるところにある。これまで事例はないが、住民投票や議会の議決等で指定解除の申請をしてみてもどうか。ということ、村には残らないが、文化財として残す解体移築を検討してはどうか。という2点アドバイスをいただいた。解除して壊すのが目的ではない。残したいが、残す術がないからやむを得ず解除を申請するという流れでないと文化庁も指定解除は認めないだろうという話でした。

【議会協議事項】

◆正副区長、女性部長との意見交換会の日程と内容について

令和7年3月6日 9:00

【第一回定例会案件調査・研究】

議案第10号

議案第10号

豊根村会計年度任用職員の給与及び費用弁償等に関する条例

問 会計年度任用職員の給与を補償するという内容か？

答 従前パートタイム、フルタイムそれぞれの条例だったが、一本化した。常勤職員に準じて地域手当を支給することとした。

問 人事院勧告に基づき、職員給与は上がっていく。村内事業所と給与格差が広がるのではないか？

答 役場に準じた給与体系の事業所もある。給与アップにより人材確保に繋がると考えている。

議案第29号
令和6年度一般会計歳入歳出補正予算(第7号)

問 ふるさと納税減額の要因は？チョウザメの活用と目新しい策の提案を。

答 返礼品のチョウザメの不振と法人の寄付が減ったこと。コンサル等の活用も視野に村の魅力を発掘し、返礼品に活かす方を検討していきたいと考えている。

問 観光リフト使用料の減額の理由は？

答 歳入予算の過大見積。令和7年度当初予算では前年実績に応じた額を計上している。

【議会協議事項】
◆ 特別委員会委員長選任について

◆ 豊根村議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について

◆ 陳情について

▽ 陳情者(愛知県弁護士会より)内容説明。常任委員会にて表決をとることとした。

令和7年3月14日 14:00

【執行部からの報告】

◆ 人事異動内示

【議会協議事項】

◆ 予算特別委員会、委員長報告について

◆ 豊根村議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例

◆ 意見書

令和7年第1回定例会

予算特別委員会

委員長報告

令和7年第1回定例会において予算特別委員会に付託

となりました。議案第22号「令和7年度豊根村一般会計予算について」から、議案第28号「令和7年度豊根村簡易水道事業会計予算について」までの7議案について、委員会審査の経過と結果をご報告いたします。

本委員会は、3月7日、10日、11日に委員会を開催し、付託された各議案について各担当課長から詳細な説明を受けるなど慎重に審査を行いました。令和7年度予算は、令和6年人事院勧告を受け経常的経費である職員の人件費が大きく増額されており、併せて起債の制限に制約がある事業実施も重なり大きなものとなっております。歳入における自主財源は例年並みであり、財政の硬直化を危惧する

意見もありましたが、概ね編成方針に沿った予算であることと認め、全ての議案について、次に述べる意見を付して原案を可決するものと決定しました。

初めに、歳入に関して自主財源の確保では、木サイクルセンター製品の売払収入や温泉入浴料、観光リフト使用料といった、柱となる収入が前年より減額となっております。方針や施策の転換を図り、稼ぐ力の強化、収支の改善を求めます。

次に、歳出では人材確保を柱とした令和6年人事院勧告を受けた職員人件費、蛍光灯2027年問題に対応する公共施設の照明LED化に係る経費が大きな額を占めています。新年度に着実に執行するとともに、これらの課題は、村内事業所や村民も同様に抱えるものですので、次年度以降、村民に対し何らかの支援策を望みます。

人口減少が進む中でも、道路や公営住宅等のインフラ整備や大規模地震への対応が引き続き実施され、特定財源が充足するよう、観光産業や林業振興に努め、本村にあって住民が、安全安心な生活ができるよう、きめ細かな施策の推進を求めます。

次に、木サイクルセンターや温泉、茶臼山高原の開発、熊谷家住宅の保存といった今後の在り方検討がなされていますが、検討結果を実践するための予算が、今後必要となることを念頭に、長期ビジョンに立つた予算配分や財政規律の適正化に努め、何を行い、何を中止するかを見定め、持続できる村づくりを要望します。

最後に、富山村との合併以降、過去最大の一般会計予算となっております。この予算を執行するためには、役場職員が団結し、人員不足を補うべく各課連携協力体制に注力し、施策の遂行に努めることにより、村民が喜び希望を持てる予算とするよう希望します。以上、予算特別委員会の報告を終わります。

質疑(抜粋)

総務課

問 富山支所の閉鎖は、令和8年度4月に向けて進んでいるが、令和7年度予算には関連経費が措置されていない。補正予算が必要となるか？

答 令和7年10月から郵便局へ証明書発行事務を委託できるように調整中。6月議会にて事務委託の承認をいただく必要がある。郵便局と本庁舎をオンラインで結び、住民と本庁舎職員が対面で事務ができるようにする機器の購入や設定に補正予算が必要となる。10月以降、郵便局と支所とで平行業務させ、スムーズな移行を目指します。

税務課

問 固定資産税の滞納者、昨年と同じ7名とあるが、解消は難しい状況か？

答 東三河広域連合へ徴収をお願いしている案件だが、対象者に差押えする物件

(資産)がないため、解消に時間を要しています。

問 農業振興地域内農用地区域内農地(青地)には税金の優遇制度があるか？

答 農用地区域内にある農業施設用地(宅地)の価額は、農地として評価しています。

振興課

問 空き家対策協議会構成員の顔触れは？住民の代表として議会議員の参加は可能か？

答 住民代表として各行政区の区長、有資格者として宅建資格所持者、土地家屋調査士、建築士を予定している。議会議員の参加は検討します。

問 温浴施設方針策定委員会。この委員会の性格は？決めることを運営委員会に丸投げの感がする。

答 委員会の立ち位置としては、村長からの諮問を答申する会としています。

住民課

問 民生委員の改選を控えているが、成り手不足の中、待遇改善に向けた計画はあるか？報酬が払えないのでは

れば、お礼(報償)を充当することができないか？

答 法律上、報酬を支払うことができない。これまで現任委員と改選の話をしたことはないが、現任委員の負担が軽くなるようにしていきたいと考えている。待遇改善に向けて検討していきたい。

問 妊婦に対する遠方分娩支援事業とは？

答 妊婦検診や出産時に、豊根村から各医療機関までの移動にかかる交通費や宿泊費の費用弁償。

産業課

問 木質ペレットの製造を中止する木サイクルセンターの今後の運営は？

答 土木用間伐製品や住宅用床材の営業に注力するとともに、村直営とした令和6年度から8年度の3年間で以前の指定管理者であった森林組合含め、運営を任せる事業者の選定を行います。

問 下中住宅(仮称)の内容は？災害時、役場職員が徒歩で現場に参集することができるよう、以前、郵便局だった建物

がある土地を寄付していただき、2階建6室の単身用住宅1棟を建設する計画。

問 令和6年度発行のプレミアム商品券は完売したのか？

答 前年度より1,000万枚増で発行したが、売れ残りが生じた。

生活課

問 村営バス運転手の高齢化と今後の人材確保の見通しは？

答 郡内町村ともに同じ課題を抱えている。郡内で課題を共有し、解決の方策を探します。

問 村営バスの今後の方向性、スクールバスや村営のタクシーのように形態を変えていくといった議論は予算要求の際にあったか？

答 国や県の財政支援を受けるため、路線バスとして運行している。運行の実態としてはスクールバスだが、スクールバスとして運行した場合、財政支援が大きく減額となる。バス運転手が空いた時間に、がんばらマイカーの運転に携われる仕組みの構築を進めている。

問 各区や組からの道路等インフラの修繕に関し、簡易的な作業であれば、道路作業員で対応可能かと思いが、日々の作業実態を把握しているか？

答 平日5日間のうち、3日間は県道の作業、2日間は村の作業に従事している。日報で作業実態は把握しているが、人員の都合で手が回らないのが実情。

問 熊谷家の今後の対応は？

答 これまで、情報収集や有識者からの意見徴収を行ってきた。現時点で具体的な方向性は示せていないが、6月までにはある程度の方向性を示したい。新年度予算では、所有者が行う住宅周辺の草刈りや清掃費用の補助を措置している。

教育委員会

問 森遊館の利用計画は？

答 プール利用を維持できるための予算措置をしている。森遊館だけでなく、富山区全ての施設について住民からの提案や意見を聞くとともに、施設の売却も含め検討していきます。

行政視察

日時▼令和7年2月17日(木)
午前11時〜午後1時30分
場所▼長野県飯島町役場
会議室

参加▼議会議員 8名

内容▼飯島町議会「定数報酬等検討小委員会」の活動内容

説明▼飯島町議会議長

久保島 巖氏

飯島町議会議員

片桐剛氏

経緯▼住民から町議会の活性化、議員定数の削減及び25歳〜55歳の議員報酬の増額を求める陳情を受け、令和3年に委員会を発足した。

Q 委員会発足時、議会内の議員のなり手不足問題と議員報酬についての意見は？

A 仕事量が増えているにも関わらず報酬は低水準、報酬が低いため、若年あるいは子育て世代は議員にな

りにくい、低い報酬では議員専業は難しい等、議員のなり手がいないという意見が占めた。

Q 住民に対する活動報告は？

A 広報誌「議会だより」を通じて、委員会の設置から途中経過、議案の提出までを周知

Q 豊根村議会では、長年、女性議員が不在。貴町の状況は？

A 現在、当町には2名の女性議員。女性視点からの質問や意見は町づくりの良い影響を与えていると感じている。



区長・副区長・女性部長との懇談会

日時▼令和7年2月27日(木)
午後7時〜午後9時

場所▼役場 第二会議室

参加▼区長・副区長・女性部長 12名

議会議員 7名

内容▼①議員定数

②議員報酬の現状

③女性議員

④議会に対する意見

経緯▼近年、全国の町村議会では、議員の成り手不足が深刻な問題となっており、その大きな要因の一つが低額な議員報酬だと結論づけられました。

豊根村議会では、議員報酬と合せて議員定数も同時に検討することとし、令和7年度より協議していくこととし、方針が定まれば令和7年12月定例会若しくは令和8年3月定例会にて条例改正を提案し、令和9年4月の選挙を迎えたいと考えているところです。

一般質問



清川 長次 議員



▲一般質問の様子を動画でご覧いただけます。

予算編成方針の10年〜20年先を見据えて今、何をすべきか、何をやるべきかの判断について

問 推進体制及び判断の考えは？

答 副村長

予算編成時の検討において総合計画の施策項目、村長マニフェストへの対応を確認しながら実施事業の内容を精査し、目的を達成しているか、効果が見込めるか等により判断し、新規事業についてはさらに財源、将来的な負担状況を考慮し、実施先送りや実施困難と判断している。

問 村長任期があと2年、先を見据えての目標、考えは？

答 村長

10年先、20年先を見据え、今何をすべきかですが①事前災害対策で、特に停電対策で村の補助事業を活用し備えていたきたい②少子化対策、人口減対策で、数々の子育て

支援策を実施し移住定住を進めてきたが引き続き力を入れる③行政職員、福祉施設職員の人材確保で、採用方法や研修により人材育成、やりがいの醸成を図り、福祉施設職員確保は奨学金制度拡充や有資格者の転入を図っていく④茶臼山高原協会の財務改善で、借入金残高が9,000万円を超えており、経営が圧迫されないよう計画的な返済を指導する⑤地籍調査の進捗で、不動産登記法の改正により相続登記が義務化され土地整理図と現地の食い違いや境界不明確等の解消を進め公共事業等に支障がないようにしていく。何をやるべきかは継続すれば事態が悪化したり、やめられなくなったり、余計に労力や費用がかかるもので①富山支所で、令和8年4月には支所窓口業務を富山郵便局に移管していく。支所建物は耐

※文字数制限(2,000字)により、主要部分を抜粋し掲載

震補強がなく危険であるので財源を探し早期に取り壊したい②木サイクルセンターの村直営管理で、林業事業者に指定管理すべきと考えており、ペレット製造は休止するが製材設備等を利用してくれる方がいれば譲渡や貸与で活用していただきたい。ない場合は近い将来、閉鎖、撤去して更地に戻し土地所有者に返還したい③

パール豊根の村直営管理で、令和7年度に「あり方検討」を行うが、施設リニューアルか移転にかかわらず管理は指定管理で村直営は考えない④公共施設等の借地解消で、長期の借地は購入費を上回る場合もあり、返還できない土地は村が買取交渉を進めていく。今後も購入を原則に考えていく⑤特定分収林契約で、全ての契約が満期を超えており、代替わりで所有権移転が難しくなるので契約者等のご理解をいただき土地を購入する方法で処理していく。

茶臼山高原の魅力づくりについて

問 オールシーズンの魅力づくり

くりへの考え及び推進手立では？

答 振興課長

茶臼山高原の今後の方向性、将来ビジョンを示すことが重要と考え、実現するための目標を立て具体的に行動して行くことと捉えている。推進手立てとして令和7年度に茶臼山高原協会、休暇村、観光協会、村、必要に応じて愛知県や国の方の参加で「茶臼山のあり方を検討する会」を立ち上げ、幅広く議論していく。

令和7年度事業で茶臼山本峰への遊歩道(登山道)整備が計画されているが、8月11日祝日の「山の日」に供用できるか？

答 振興課長

遊歩道ということで重機が入ったの工事ができず、モノレール資材運搬や人力工程が多くなり、工程等を精査するが現時点では困難ではと考えている。

茶臼山への道路アクセスで集客波及効果享受している奥三河地域のイニシアチブを取って進める考えは？

答 振興課長

茶臼山ルート上にある地域との広域連携が不可欠で奥三河観光協議会において一体感を持って推進していくことは可能と考え、茶臼山の将来をどうしていくかの方針を決めた上で、各団体等へお願いしていきたいと考えている。

昨年12月県より有償譲渡された県野外活動ロジック跡地活用は？

答 振興課長

自然環境を最大限に生かすよう「茶臼山あり方検討会」で議論していく。

高齢者介護サービスの提供について

村内介護事業所の人材確保状況は？

答 住民課長

一部の事業所で人員確保が難しいとのことでありサービス縮小をしている状況を聞いている。

在宅高齢者に身近で頼れる訪問介護事業所、通所事業所の将来見通しは？

答 住民課長

専門職員の高齢化が進み、若い世代の確保が進んでいないので退職時期を迎えると

事業存続に支障が出るのではと危惧している。

問 課題と対策は？

答 住民課長

全国どこでも介護人材不足状況の中、特に中山間地域においては顕著であり、東三河広域連合介護保険事業において重点事業として取り組んでいる。

村は人材確保を基本として、対策の一環として施設等設置基準の見直しで、今より少ない人員でも介護サービス事業が継続できるよう離島等相当サービスを令和7年4月から制度化した。

村社会福祉協議会介護事業のあり方及び郡内社協との事業連携は？

答 住民課長

高齢者介護サービス提供として訪問介護、通所介護、居宅介護支援の事業所を運営しているが新しい人材、担い手確保が喫緊の課題です。設置等緩和基準を適用しながら現状サービスを先ず維持していく。郡内においても同様な課題を抱えており、人員融通の余裕がない、地域が広大になるなど連携、統合は困難であると検討結果である。



石田 吉孝 議員



▲一般質問の様子を動画でご覧いただけます。

医療・介護・福祉について
住み慣れた地域で、自分らしく生活を送ることができよう居宅サービスの充実に向け村は、どのような対策、支援を行っているか？

答 住民課長

高齢者の生活状況の把握のため、訪問、面接を地域包括支援センターなどで行い関係機関と支援体制について協議し在宅介護については、訪問型、通所型、宿泊型の各介護サービスなど住環境

※文字数制限(2,000字)により、主要部分を抜粋し掲載

を整備する補助等を行っている。また、要介護者にはケアプランを作成し、介護サービスの提供、それ以外にホームヘルパーのサービス、訪問介護、訪問リハビリテーション、福祉用具のレンタル、介護のための住宅改修を行っている。

問 介護認定された方のケアについて施設や体制整備が都市部に比べ少ないが村の考えは？

答 住民課長

地域包括支援センターの設置により住民からの様々の相談を受ける体制をとり、診療所、社会福祉協議会の居宅介護支援事業所、保健センターなど専門職で構成する地域ケア会議に於いて個別のケースの検討など行い都市部に比べて事業所は少ないが、できるだけ高齢者に寄り添ったサービスを提供している。

問 短期入所は、現在、利用者がいないと聞いている。ショートステイでやまゆり荘を利用して冬季の希望者もあると考えるか？

答 住民課長

生活支援ハウスの居住部門については、ここ数年入居希望者がいないと聞いている。ショートステイなど支援ができる状態の方々にについては、できるだけ支援を受けて頂きながら様々な状況に応じていきたい。

問 緊急通報装置の利用者が少ない。デジタル時代に対応した改善がなされているか。また、本人負担や家族における理解が足りているか、説明は行っているか？

答 住民課長

機器は人感センサーによる見守りシステムも利用できるようになってきている。また、在宅の高齢者数減少をうけて最近では数件の新規希望者もある一方、施設入所により利用をやめる状況である。

問 緊急通報装置と見守る人の役割は？

答 住民課長

高齢者の見守りのサービスについては、様々なサービスが広がっており、地域包括支援センターを中心に居宅介護支援事業所等連携して、状況に応じた相談体制をとって

おり、より良い見守り体制をつくっていきたくと考えている。民生委員の皆さんは精力的に地区の訪問を行っている。また、地域サロンに於いてもボランティアの方が毎月のように地域サロンを実施し、介護予防の中で見守りや声かけを行っている。

問 東三河北部医療圏保健医療計画では、中核病院である新城市市民病院が第二次救急医療体制をとっており病院群輪番制により予算化されているが、長野県域や静岡県域、または、豊川市民病院等かかりつけ医を希望する搬送患者もおり、医療圏域を超えた医療機関と包括ケアについての連携や約束事はどのように協議されているか？

答 住民課長

入退院時の連携と同様に医療・介護の連携を図っています。飯田市民病院ではソーシャルワーカー、聖霊三方ヶ原病院では地域医療連携室、豊川市民病院では患者サポートセンターといった地域と医療をつなぐ窓口があり、そのような機関と村の地

域包括支援センターと居宅介護支援事業が情報を共有しながら退院後のサポートをしている。県外の医療機関とそれぞれ直接個々のケースに合わせて情報交換を行う対策を講じており、この体制を維持していくことが大事であると考えている。

問 村が誘致したケアセンター・グループホームは村内に於いて高齢者の受入、雇用、資産税等、必要不可欠な事業所で地域密着型の施設である。現在43名から51名が入所していますが、働き手不足のため入所者を抑えていると聞いている。村内または近隣町村に於いて福祉・医療の有資格者の掘り起こし等について支援、協議はされているか？

答 住民課長

必要に応じて情報交換を行っているが山間部、都市部関係なく人材不足している状況であり情報交換を進めている。東三河広域連合による人材確保支援事業の取り組みを紹介し、人材確保に向けた支援をしていく。

また、東三河広域連合の事業で人材マッチングの事業を行っているっており、ケアセンターについても支援をしていく。

問 村の奨学金貸付事業の中で村内の医療、福祉施設に6年以上勤務する意志のある医学士、また、就学に意欲があり、経済的理由で就学が困難と認める者に学費を貸し付けるとある。介護保険事業は東三河8市町村で運営を行っているが、どの市町村に於いても人員不足となっている。資格取得にも時間やお金がかかるので広域連合の事業として、持続可能な職場の維持のためにも地域的な縛りを外すことができないか？

答 住民課長

東三河広域連合の第9期介護保険改革において、人材確保は大きな柱であり、中山間地域の基準を緩和するという取り組みの制度化にこぎつけたものである。今後、会議の中で総合的に人材確保が、どの様な形で支援できるか議論していく。

※文字数制限(2,000字)により、主要部分を抜粋し掲載

一般質問



田原 長一郎 議員



▲一般質問の様子を動画でご覧いただけます。

自治体消防の今後の在り方について

問 消防団協力事業所に対し、消防団協力事業所表示制度に基づく表示証の配布は行わないのか？

答 総務課長

消防団活動に対する理解と協力を得ることが非常に重要であるため、この表示制度も含めて団員の普及活動に努めていきたいと考える。

問 走行距離が少ない積載車に対する競売、買い取り業者への売却等の取組についてお尋ねする。

答 総務課長

他の自治体でも取り組んでいる事例が数多くあるので、参考にしながら財源確保の観点からも方法を検討しながら取り組んでいきたい。

問 更新費用を抑えるためにも、積載車本体を全て変えるのではなく、長期間使える

よう消耗品等の交換をもって支出を抑えるような考えはないかお尋ねする。

答 村長

寿命のある限り極力本体は使い続けて、部品の交換等に対応できるものであれば、交換等をして対応して行くのが、本来公有財産を扱う村としての正しい選択かと思っ

問 自治体消防に求められる役割も年々変遷していることから、時代に見合う訓練の在り方や団員の負担軽減について考えをお伺いする。

答 村長

消防業務は新城消防へ事務委託をしており、従前のように消防団員が第一線で活躍するという機会は少なくなり、後方支援に回る機会が多くなっているが、消防団員が減少し団員に掛る責任等々も多くなってきている

ことから、消防団員の待遇改善に対し今後も努めて行く。
問 訓練参加の有無について、団員間で誹謗中傷がなされないよう、村として指導を希望するが見解をお聞きます。

答 副村長

団員間の誹謗中傷がなく、積極的に参加できる活動は非常に重要なことである。その事を踏まえ消防団員の在り方をしっかりと指導等して行くことが重要と思っている。

役場採用職員の離職防止対策について

問 直近の5年間における定年退職者を除く役場の離職者数をお尋ねする。

答 副村長

令和2年度は0名、令和3年度は5名、令和4年度は4名、令和5年度は7名、令和6年度は7名の23名。

問 本村における離職防止対策についてお尋ねする。

答 副村長

メンタル面の相談体制づくりや、年に1回、全職員に異動希望の意見聴取を行っている。しかしながら職員の配置につ

いては、職員の希望を叶える仕組みとなっていないことから、今後改善に向けて研究して行く予定である。また職員が職場に必要とされていることや、大切な人材であることを感じてもらうために、職員やその家族に対し、節目にギフトを贈るなどの取組を職員会として対応するよう提案して行く。

農業委員会の現状について

問 豊根村農業委員会の構成人数及び任期についてお尋ねする。

答 産業課長

豊根村農業委員は7名で、男性が7名、女性が2名である。任期は令和5年7月20日～令和8年7月19日までの3年間である。

問 非農地証明書は、どの様なものかお尋ねする。

答 産業課長

登記上の農地が、実際には長期間農地として使用されていないことを証明するものである。その農地が荒廃農地としての状態なのか農業委員が現地を確認し、その結果、再生利用が困難な農地と委員

会が判断した時に、所有者に登記簿の地目の変更ができるよう非農地証明書を交付する。またこの証明書は法務局にも通知される。

問 非農地証明の具体的な場所や発行実績をお尋ねする。

答 産業課長

平成30年に2件、令和6年に1件あり、平成30年においては、上黒川字登長口において8筆、2つ目は三沢字久保貝津に3筆あり、令和6年においては、坂宇場御所平に2筆である。

問 農業振興地域面積と農用地(青地)の面積と、次の見直し時期はいつかお尋ねする。

答 産業課長

農業振興地域面積は254.13haとなり、農用地(青地)の面積は80.98haである。また見直しについては、令和9年度に基本調査をし、令和10年度に計画変更の予定である。

問 農振農用地(青地)にあって、その農地が非農地証明書を取得することはできるかお尋ねする。

答 産業課長

農用地は「農業を優先的に

※文字数制限(2,000字)により、主要部分を抜粋し掲載

行うべき土地」として法律上厳しく保護されているため農用地(青地)にあつて、非農地証明書を取得することは難しいものと考ええる。

問 農用地(青地)において転用を考えた場合、どのような手続きになるのかお尋ねする。

答 産業課長

まず農振除外の申請の手続きを行う必要がある。この除外が認められた場合は農振農用地外(白地)になり、その後農地法に基づく農地転用許可を申請することが可能となる。

問 農業委員会は全国的な組織であり、重要かつ職務権限を有していることから、その対応を軽んじることなく、充実強化に努めて頂きたいと考えるが、村としてのご所見をお伺いする。

答 産業課長

産業課長は農業委員会事務局長を兼任しており、対象となる農地面積は小さくとも、農業委員会が取り扱う案件については、今後も慎重かつ厳正に扱って行きたいと考えている。

議会活動

1/17 北設情報ネットワーク民間移行业務勉強会

令和7年1月17日(金)設楽町にて、北設楽郡3町村議会議員に向けた北設情報ネットワークの民間移行业務についての勉強会が開催されました。

現事業を運営する北設広域事務組合と移行先の中部テレコミュニケーション(株)から、公設公営から民設民営へ移行するために必要な手続きや工事、料金体系等の説明を受けた後、質疑応答や意見交換を行いました。



1/25 町村議会議員・町村職員対象防災講演会

令和7年1月25日(土)長野県下条村にて町村議会議員・町村職員対象防災講演会が行われ、本村議会から正副議長が出席しました。

東日本大震災を経験された自治体職員3名を講師に迎え、当時の状況や被災の経験から得た教訓等のお話を聞きました。日頃の備えが大切だということを再認識しました。

1/27 第32回三遠南信サミット2025in 東三河

令和7年1月27日(月)豊橋市にて、第32回三遠南信サミット2025 in 東三河が開催されました。

東三河、遠州、南信州の首長、議会議長が出席され、防災・減災を柱とした「持続可能な地域づくり」のためには地域コミュニティや官民連携、広域連携を一層強化する必要があることを確認しました。



3/2 三沢高原キャンプ場竣工式

令和7年3月2日(日)に三沢高原キャンプ場竣工式が行われました。

議会においても、予算措置及び条例改正、事業の進捗状況等の確認に携わり、オープンを心待ちにしていました。このキャンプ場が地域の賑わいの場となることを期待しています。

2025年 議員活動日記

1月

開催日	会議等の名称	場所	出席者
2日	豊根村成人式	村民ホール	全議員
17日	北設情報ネットワーク民間移行事業勉強会	設楽町	全議員
20日	東三河広域連合議会全員協議会	豊橋市	清川議員
	STATION Ai 視察	名古屋市	議長
21日	例月出納検査	委員会室	監査委員
22日	全員協議会	委員会室	全議員
	令和7年第1回臨時会	議場	全議員
23日	広報委員会	委員会室	副議長・金指田原議員
24日	後期高齢者医療広域連合議会定例会議案説明会	名古屋市	副議長
	JA愛知東新春農政懇談会	新城市	議長
25日	町村議会議員・町村職員対象防災講演会	下條村	議長・副議長
27日	三遠南信地域市町村議会議長協議会総会、三遠南信サミット	豊橋市	議長
28日	サウジアラビア大使歓迎会	豊根村	全議員
29日	北設楽郡正副議長会	設楽町	正副議長
30日	北設広域事務組合例月出納検査	設楽町	新木議員
27日	東三河広域連合設立10周年記念式典	豊橋市	正副議長・清川議員

2月

開催日	会議等の名称	場所	出席者
5日	東三河広域連合議会定例会 1日目	豊橋市	清川議員
6日	東三河広域連合議会定例会 2日目	豊橋市	清川議員
12日	後期高齢者医療広域連合議会定例会	名古屋市	副議長
17日	行政視察	飯島町	全議員
19日	全員協議会	委員会室	全議員

20日	例月出納検査	委員会室	監査委員
	奥三河ビジョンフォーラム	新城市	議長
25日	北設広域事務組合定例会	設楽町	議長
26日	北設楽郡正副議長会	東栄町	正副議長
27日	区長、副区長、女性部長との懇談会	第三会議室	全議員
28日	議会運営委員会	委員会室	正副議長・正副委員長

3月

開催日	会議等の名称	場所	出席者
2日	豊根村消防団観閲式	豊根ドーム	全議員
	三沢キャンプ場竣工式	豊根村三沢	全議員
6日	全員協議会	委員会室	全議員
	第4回定例会(初日・一般質問)	議場	全議員
7日	豊根中学校卒業式	中学校	全議員
	予算特別委員会①	委員会室	全議員
8日	村民福祉の集い	村民ホール	全議員
10日	予算特別委員会②	委員会室	全議員
11日	予算特別委員会③	委員会室	全議員
14日	全員協議会	委員会室	全議員
	第4回定例会(最終日)	議場	全議員
	広報委員会	委員会室	副議長・金指田原議員
19日	豊根小学校卒業式	小学校	全議員
21日	例月出納検査	委員会室	監査委員
25日	愛・地球博20祭	長久手市	議長

梅雨時期になると、カエルの鳴き声が聞こえてくる。茶臼山では2014年に新種記載されたネバタゴガエルが有名で、ワンと鳴くカエルとして紹介されている。根羽村で見つかったタゴガエルでネバタゴガエルと命名された。豊根の人は、そんな昔から居るよと言っており、その後東海地区で広く分布が確認された。タゴガエルとは、声と染色体数で区別されるが見た目は同じ。交雑もある。地方による変異も多く種内多様性として注目されている。

そんなことを知るよしもなく、家の沢では今日もワンワン、キャンキャンと賑やかに鳴いている。

編集後記

豊根村議会 6月定例会のお知らせ

6月定例会は6月12日(木)から19日(木)までの会期で開催予定です。なお、一般質問は12日(木)に行います。

※日程は変更となる場合もあります。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

発行責任者◆議長 石田 文彦
 広報委員会◆委員長 村松 英文
 委員 金指 春男、田原 長一郎、坂口 和男